

# 高退協会員の

## みなさんへ訴えます

いよいよ一斉地方選挙です！

地方政治と国政を変えましょう！

いよいよ4月9日に投票日(3月31日告示)を迎える高知県議会議員選挙、23日投票の高知市議会議員選挙(4月16日告示)が近づいてきました。国政選挙がない中、なおさら一斉地方選挙のとりくみや結果は重要です。

それは第一に、住民の「生活の場所」である県と市町村の自治を住民の手にまき取り戻すかどうかです。私たち



県庁前でおこなわれた安倍国葬反対のスタンディング

の議員を選ぶことが、住民の参画によって人権と民主主義を守り、住民のニーズを充たす施策の充実に繋がることなるからです。重大な生活危機の中、国の言いなりになる地方自治は、まっぴらご免です。

打ちこみ、戦争が始まります。増税で、生活と福祉がいつそう破壊されていきます。また足元の高知県議会では、「統一教会との癒着の解明と一掃を求め」る意見書がおかしなことに反対多数で否決されたり、入学式や卒業式では全員が壇上に向かい、「壇上にある日の丸の旗を参加者全員が認識すること」を求め、従来実施してきたフロアでの「子どもが主人公」の対面式をやめよと学校の教育内容に政治的介入する動きもありました。



講演の基調となる「政治的立場が異なってもみんなに共通するものは人権、一人ひとりが人間らしく生きること」

みなさん！ 周りの人も誘いあって投票に行きましょう！

みなさん！ 市民と野党の共闘を発展させましょう！

### 今、憲法をどう考えるか？

2・11「建国記念の日」に反対する高知県民集会

「今、憲法をどう考えるか？」をテーマに人権啓発センターを会場に開催された県民集会。講師の棟大樹弁護士は、会場いっぱい聴衆に向けて、2時間たっぷり元気に楽しく学べる憲法講座をテンポよく語ってくれました。ご存じの「檻の中のライオン」は中学校公民資料集にも大きく掲載されています。

「憲法という檻をライオンに守らせる。ライオンを選ぶのは私たち」と立憲主義を説明。「集団的自衛権は檻の外。ライオンが力任せに檻を壊して好き勝手にしようとしている」人間らしく生きる権利は多数決でも奪ってはいけないもの」と今日の大軍拡政治を批判。また法の下の平等では「えこひいきしない。好き嫌いで政治を行わないこと」として安倍政権のモリカケ・桜、菅政権の「学術会議任命問題」、岸田政権の「国葬問題」など一連の自民党政治の問題点を指摘しました。

(飯田清久)